

Doc. No.: NR080805

2008年8月5日

半導体製造装置の総合研修拠点「グローバルトレーニングセンター」を開設 ～顧客満足のさらなる向上を目指し、実践的でハイレベルなエンジニアの育成を強化～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)の半導体機器カンパニー(社長：垣内 永次)は本日、当社野洲事業所(滋賀県野洲市三上2426-1)の施設内に、半導体製造装置事業のサービスエンジニアやユーザーを対象とする総合研修拠点「グローバルトレーニングセンター」を開設しました。

近年、半導体業界では、あらゆる生産工程において製造装置の高機能化・高速処理化が進み、各半導体メーカーでは、生産ラインの稼働率向上への取り組みが、より一層強化されています。そのため半導体製造装置メーカーには、装置搬入時の迅速な設置・調整作業、および稼働後の保守サービスやトラブル対応など、装置を総合的にサポートできる技術者の育成が強く求められています。

本日開設した「グローバルトレーニングセンター」は、業界におけるこのような動向を背景に、当社が以前から積極的に取り組んできた半導体事業のフィールドサービス体制の強化を一層推進するもので、従来、西京極と野洲の両事業所に分散していた技術者育成機能を1カ所に結集。センター内に、最新鋭の当社主力製品をはじめ20台以上の実機を設置することにより、トレーニングの受け入れ能力を従来の約1.5倍に増強するなど、充実した教育環境を実現しました。また同センターは、現場経験に基づく安全に対する危険予知力を養い、事故災害の未然防止を図る実習を通して労働災害ゼロを目指す「安全訓練センター」、さまざまな装置の仕組みを熟知し、的確で実践的なサポート技能を習得するための「技術訓練センター」、そして半導体製造現場での作業に不可欠な知識や作業上のモラル、マナー、ルールの順守を徹底して教育する「知識訓練センター」の3つの機能を効果的に活用。ハイレベルな技術者の創出に向けた、総合的な一大研修施設となっています。

当社は、今回の「グローバルトレーニングセンター」の開設により、国内外におけるサービスエンジニアの技術サポート力の向上を図っていくほか、ユーザーに対する充実した製品メンテナンス研修や、従来製品のサポートを担う人材の育成を積極的に展開。これらの取り組みにより、世界トップシェアの獲得に裏付けられた当社半導体洗浄装置の高い製品競争力を、より高いレベルのサービス体制によって強力に支援し、顧客満足のさらなる向上を目指します。

<グローバルトレーニングセンターの概要>

所在地：滋賀県野洲市三上2426-1

敷地面積：約2万7,000平方メートル(野洲事業所の総敷地面積)

延べ床面積：約3,400平方メートル

主な業務：半導体製造装置のユーザー研修、サービスエンジニアの総合研修

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目